

福岡市学習定着度調査第4学年の結果について

9月3日に実施した福岡市学習定着度調査第4学年の結果を下記の通りお知らせします。

1 調査内容

○国語，算数

※ 本校の正答率が福岡市平均と比べて「上回っている」「やや上回っている」「同程度である」「努力を要する」のいずれであるかについて表記しています。

2 結果の概要

(1) 国語及び算数の福岡市平均と比べての結果と正答率

教科	福岡市平均と比べた正答率	正答率が高い問題	正答率が低い問題
国語	上回っている。	○物語文や説明文を読み作者の意図に従って読み取ること。	●設問の意図に従って文を書くこと。
算数	やや上回っている。	○余りのある割り算や整数・小数の計算，数の仕組みを理解すること。	●折れ線グラフの変化を読み取り，傾きの意味をとらえること。

(2) 生活習慣に関するアンケート

よ さ	課 題
○テレビやゲームをする時間が福岡市平均と比べて少なく，時間を決めてテレビを見たりゲームをしたりしている子どもが多い。 ○家での学習をしている児童が福岡市平均よりも高い。	●今住んでいる地域の行事に参加する児童が福岡市平均と比べて少ない。

3 総評

国語も算数も全体的に高い正答率になっています。

国語では，物語文や説明文など作者の意図にそって読み取ることについて特に高い正答率になっています。ただ，文を書くこととなると課題が見られる点もあります。

算数では，加減乗除などの基本的な計算は十分に理解できています。しかし，折れ線グラフの中の数値の読み取りやグラフの傾きから変化の違いを読み取ることについては，課題があるようです。

生活習慣に関するアンケートでは，テレビの視聴時間やゲームをする時間などメディアに依存する時間は短くなっており，ゲームをする子どもにおいても決めた時間以内で終わっている子どもが多いようです。一方，地域行事の参加の割合が少ない傾向にありました。

4 今後の取り組み

- 算数においては、ティームティーチングを通して子ども達の習熟の状況に合わせた学習に取り組めます。
- 宿題だけでなく、4月に配付した家庭学習の手引きを踏まえ、能動的な学習習慣をつくっていけるよう支援していきます。
- 読書は基礎的な学力を身につける点で重要です。「読書週間」の取り組みやP T Aの図書ボランティアによる読み聞かせを通して、読書に取り組んでいく場を設定し、文章読解力や語彙が自然と身につくようにします。
- 今後とも「ノーテレビ・ノーメディア」や「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みを継続し、生活習慣を整えていくようにします。